

目指す学校教育の姿 や課題について

町が実現したい学校教育の在り方

**過去に学び
現在を生き抜き
夢と志を持って歩む
栗山の子**

その実現のために

**「小中一貫した教育」
を基盤にした取り組み
が必要**

現在の取組

ハサンベツ里山での自然環境教育



現在の取組

由栗いもを使った食育事業



現在の取組

栗山町産の食材だけを使った給食



現在の取組

福祉に関する土曜授業



現在の取組

職場体験学習



現在の取組

ICTを活用した授業



課題

小中学校の各校が、互いの活動を理解し、「良さ」を共有し合う姿勢に課題。

各校が制度的・物理的に離れていることで限界がある。

課題

令和9年度に

- 継立小学校の**新入生が1名**
(全校22名)。
- 継立小学校では全学年、角田
小学校では1・2年生を除く学年が
複式学級。

目指す姿

児童生徒数の減少や校舎の老朽化などのネガティブな問題点を切り口とせず、
より良い学校経営の具現化のため
一貫教育のメリットを最大限に
活かす視点で考えることが重要

目指す姿



目指す姿

- この写真は、東京都品川区立豊葉の杜学園での教育活動の様子です。
- グラウンドで運動会の練習をしている小学3年生の頑張りを、同じ施設で学ぶ幼稚園年長組の幼児が食い入るように見つめており、その後ろには中学2年生の生徒が将来、幼稚園教師になることを夢見ながら職場体験学習を行っています。
- ここの一環教育の環境には、子ども達同士で高め合い、自信を持ち続ける教育的要素が詰まっています。

語り合う会での全体的な意見

子どもたちには、栗山の地域性を活かしながら、色々な経験を通じて成長できる環境をつくってあげたい気持ちが強く表れていました。

語り合う会での全体的な意見

前向きな話題が数多く出された一方で、**少子化による教育環境への影響を心配する話題も全会場で出ていました。**

（具体的には、早期の統廃合を求める声）